2023年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年８月12日

上場会社名	ランサーズ株式会社	上場取引所	東
コード番号	4484	URL	https://www.lancers.co.jp
代表者	(役職名) 代表取締役社長 執行役員CEO	(氏名)	秋好　陽介
問合せ先責任者	(役職名) 執行役員 経営企画・IR担当	(氏名)	多胡　あき乃　(TEL) 03(5774)6086
四半期報告書提出予定日	2022年８月12日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：有

四半期決算説明会開催の有無　：有　（　機関投資家、証券アナリスト向け　）

(百万円未満切捨て)

１．2023年３月期第１四半期の連結業績（2022年４月１日～2022年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年３月期第１四半期	1,047	7.9	△136	―	△134	―	△136	―
2022年３月期第１四半期	971	12.0	△41	―	△40	―	△106	―

（注）包括利益　2023年３月期第１四半期　△136百万円(―%)　2022年３月期第１四半期　△106百万円(―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年３月期第１四半期	△8.65	―
2022年３月期第１四半期	△6.83	―

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、１株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年３月期第１四半期	3,178	1,052	33.1
2022年３月期	2,840	1,188	41.8

(参考) 自己資本　2023年３月期第１四半期　1,052百万円　2022年３月期　1,188百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2023年３月期	―				
2023年３月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2023年３月期の連結業績予想（2022年４月１日～2023年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	流通総額		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,642	22.5	5,401	32.6	△289	―	△284	―	△286	―	△18.21

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　　　　　　　　　　　　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　　：無

③　会計上の見積りの変更　　　：無

④　修正再表示　　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年３月期１Ｑ	15,745,144株	2022年３月期	15,745,144株
②　期末自己株式数	2023年３月期１Ｑ	37株	2022年３月期	37株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2023年３月期１Ｑ	15,745,107株	2022年３月期１Ｑ	15,656,382株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴うまん延防止等重点措置が３月をもって全面解除され、徐々に経済活動が再開することが期待されている一方、ロシア・ウクライナ情勢の緊迫化、円安や資材価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループを取り巻く事業環境につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け大きく変容しました。2021年10月に当社グループが実施した「新・フリーランス実態調査2021 - 2022年版」（注１）によると、広義のフリーランス（注２）人口は新型コロナウイルス感染症流行前の2020年２月に実施した調査と比較し49％増の1,577万人にのぼり、経済規模は約24兆円となりました。さらに、自身の仕事への「プロ意識を持つフリーランス」が約８割存在し、高いスキルを持った人材がフリーランスに転身している動きが顕著とも言えます。また、仕事をしながら新たなスキルを習得したいという「学ぶ意欲」を持った人材がフリーランスの６割以上を占め、20～40代を中心にデジタルスキルの習得の需要が高まっています。今後さらに深刻化していくIT人材不足の課題の解消に対して、デジタルスキルを習得したフリーランスが貢献していくことが期待されます。

当社グループはこのような環境において「個のエンパワーメント」をミッション、「すべてのビジネスを『ランサーの力』で前進させる」、「誰もが自分らしく才能を発揮し、『誰かのプロ』になれる社会をつくる」をビジョンとして、マッチングプラットフォームを通じた双方への価値提供を強化してまいりました。オンライン上でクライアント(企業)とランサー(個人)が直接マッチングするサービスである「Lancers」、クライアントのエンジニア・デザイナー・マーケター等の求人ニーズに対応して、エージェントを介してフリーランス人材を紹介するサービスである「Lancers Agent」を当社の主力事業に位置付け、堅調に事業を拡大しております。

当第１四半期連結累計期間においては、恒常的な黒字化に向けた事業構造及び組織体制の見直しを行い、主力２事業の成長戦略を推進してまいりました。

マーケットプレイス事業の主要サービスである「Lancers」においては、Lancers「パッケージ方式」を中心としたプロダクトのアップデート施策を実行し、新規クライアント数の拡大を目指します。

前連結会計年度に再成長のフェーズを迎えたエージェント事業の主要サービスである「Lancers Agent」においては、撤退事業からの人員異動による組織拡大・強化を行ってまいりました。下期に向けては、営業活動の効率化による一人当たり売上総利益の拡大を目指してまいります。また、当第１四半期連結累計期間においては、戦略/IT/DX系のコンサルタント・各種専門家等の高度ビジネスプロフェッショナルと、このような人材を経営課題の解決に活用したい企業を繋ぐマッチング・プラットフォームを運営している株式会社ワークスタイルラボを子会社化し、今後既存事業とのシナジーを創出すべく協業を加速してまいります。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は1,047,929千円（前年同期比7.9％増）となり、営業損失は136,873千円（前年同期は営業損失41,190千円）、経常損失は134,822千円（前年同期は経常損失40,445千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は136,118千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失106,933千円）となりました。

なお、当社グループはプラットフォーム事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしておりません。

（注１）「新・フリーランス実態調査2021 - 2022年版」は、当社グループが株式会社マクロミルに依頼した、過去12か月に仕事の対価として報酬を得た全国の20歳以上の成人男女を対象にして2021年９月から10月にかけて実施した調査であり、3,094人から回答を得てまとめたものです。

（注２）「広義のフリーランス」とは、特定の会社に属さずに報酬を得ている「専業フリーランス」に加え、専業フリーランスではないが直近１年間にフリーランスとしての報酬を得たことがある人（副業をしている一般の会社員等）を含んだグループを示します。「新・フリーランス実態調査2021 - 2022年版」ではフリーランスを①副業系すきまワーカー、②複業系パラレルワーカー、③自由業系フリーワーカー、④自営業系独立オーナーの４つに分類しており、広義のフリーランスにはこの４タイプのフリーランスが含まれます。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して337,632千円増加し、3,178,092千円となりました。これは主に、流動資産において現金及び預金が86,918千円減少したものの、固定資産においてソフトウエアが138,512千円、のれんが272,464千円増加したこと等によるものです。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末と比較して473,426千円増加し、2,125,459千円となりました。これは主に、流動負債において買掛金が127,380千円、固定負債において長期借入金が410,080千円増加したこと等によるものです。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して135,793千円減少し、1,052,633千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が136,118千円減少したこと等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年３月期の連結業績予想につきましては、2022年５月13日に公表した内容から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2022年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,600,779	1,513,860
売掛金	390,812	456,936
仕掛品	3,425	3,860
前払費用	42,471	33,704
未収入金	282,412	271,353
その他	72,973	75,201
貸倒引当金	△32,397	△30,724
流動資産合計	2,360,477	2,324,193
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,872	7,303
工具、器具及び備品（純額）	983	1,599
有形固定資産合計	8,856	8,902
無形固定資産		
ソフトウエア	95,239	233,752
ソフトウエア仮勘定	150,500	113,656
のれん	170,501	442,966
その他	―	435
無形固定資産合計	416,242	790,810
投資その他の資産		
敷金及び保証金	37,901	37,808
繰延税金資産	16,981	16,366
その他	880	790
貸倒引当金	△880	△780
投資その他の資産合計	54,883	54,185
固定資産合計	479,982	853,898
資産合計	2,840,459	3,178,092

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2022年６月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	193,500	320,880
1年内返済予定の長期借入金	―	19,920
未払金	421,338	348,792
未払費用	92,990	160,065
未払法人税等	18,439	2,775
未払消費税等	11,030	13,084
預り金	838,791	783,930
賞与引当金	61,457	50,271
役員賞与引当金	―	1,168
その他	13,485	13,489
流動負債合計	1,651,032	1,714,379
固定負債		
長期借入金	―	410,080
長期未払金	1,000	1,000
固定負債合計	1,000	411,080
負債合計	1,652,032	2,125,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	59,934	59,934
資本剰余金	1,779,118	1,779,118
利益剰余金	△650,589	△786,708
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,188,427	1,052,308
新株予約権	―	325
純資産合計	1,188,427	1,052,633
負債純資産合計	2,840,459	3,178,092

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2021年４月１日 至　2021年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年６月30日）
売上高	971,529	1,047,929
売上原価	490,783	549,312
売上総利益	480,746	498,616
販売費及び一般管理費	521,936	635,490
営業損失（△）	△41,190	△136,873
営業外収益		
営業債務消滅益	1,370	1,301
助成金収入	―	570
その他	30	532
営業外収益合計	1,401	2,404
営業外費用		
支払利息	―	353
その他	656	―
営業外費用合計	656	353
経常損失（△）	△40,445	△134,822
特別損失		
解約違約金	65,252	―
特別損失合計	65,252	―
税金等調整前四半期純損失（△）	△105,698	△134,822
法人税、住民税及び事業税	3,513	680
法人税等調整額	△2,277	615
法人税等合計	1,235	1,296
四半期純損失（△）	△106,933	△136,118
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△106,933	△136,118

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2021年４月１日 至　2021年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年６月30日）
四半期純損失（△）	△106,933	△136,118
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	635	―
その他の包括利益合計	635	―
四半期包括利益	△106,297	△136,118
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△106,297	△136,118

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。